

令和3年度 さいたま市立芝原小学校 自己評価書

校長 吉岡 貴和



1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 教育課程、学習指導の充実
基礎学力の定着やよい授業の4つの因子を入れての授業の充実、「わかる」「できる」を実感するおもしろい授業づくり、児童が好奇心をもって取り組むような学習環境を含めたICTを活用した授業、体験的な学習や問題解決的な学習指導
- (2) いじめや不登校の対応、教育相談の充実
互いを尊重し合う人権教育の推進、規範意識の向上に向けた指導、児童及び保護者を対象とした教育相談体制の充実と全教職員による組織的な対応、豊かな人間関係づくり
- (3) 体力の向上と、保健や食育、安全の指導の充実
コロナ禍における体育授業の充実、養護教諭や栄養士・学校医等と連携した指導の充実、各種避難訓練、一斉下校や日常的な登下校指導の実践とルールやマナーの育成
- (4) 保護者、地域との連携
保護者や地域に向けたコロナ禍における授業や学校行事の公開、各種たよりや広報掲示板を活用した情報発信、学校Webページや学校安心メールを利用した即時性のある情報伝達、地域の教育力の活用

2 評価結果について

- (1) 教育課程、学習指導
「基礎学力の定着を目指した授業改善～」を主題とし、ICTの活用についての学校課題研修を中心に教員は授業づくりに熱心に取り組んでいる。97%以上の教員がコロナ禍に対応しながら、児童が互いに学び合えるような授業を展開していると回答している。児童の89%が「勉強はよくわかっている」と肯定的な回答をしているが、全国学力・学習状況調査の結果では国語・算数とも課題が見られ、さらなる授業改善が必要である。また、朝G・Sの行い方について改善の必要があるという2名の教職員からの記述があった。
- (2) 体力の向上と、保健や食育、安全の指導の充実
体力向上に関する保護者の肯定的回答は74%で、昨年度より7%高くなったものの他の項目に比べ低い傾向が見られた。Withコロナの段階的な方策について検討を重ねる必要がある。保健や食育指導については保護者からの肯定的な回答が83%以上であり、概ね指導が適切であると受け止められている。
- (3) いじめや不登校の対応を含む積極的な生徒指導、教育相談の充実
いじめ防止等に関する計画的な取組について全教職員が肯定的な回答をしており、いじめ認知についても生徒指導委員会を中心に積極的に行っている。また、基本的な生活習慣に関する児童の肯定的な回答（挨拶(93%)、友達と仲良く(93%)、きまりを守って生活(95%)）は高い。しかし、保護者や教職員の肯定的回答は各81%・86%であり、児童に比べやや低い。「教育相談体制が整備され、児童や保護者からの教育相談に適切に対応している」と92%の教員が回答しているものの、児童・保護者の肯定的な回答は各80%・79%である。
- (4) 保護者、地域との連携
保護者の肯定的な回答は昨年度の74%から82%に上昇した。コロナ禍に応じ、行事等の実施方法や学校安心メール等を含めた保護者・地域との連携の方法を工夫したためと推測される。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

〔教育課程、学習指導〕

- ・学校課題研修を中心としたICTの活用成果の共有と更なる指導方法の研修・改善を推進する。
- ・業前活動「のびっ子タイム」や朝G・Sの学習内容や方法についてさらに改善していく。

〔生徒指導、教育相談〕

- ・「潤いの時間」人間関係プログラムの既習を生かしながら生活を送れるよう、あいさつキャンペーンの継続や規範意識の向上に向けた重点取組を決め、全教職員での共通理解・共通行動で指導に当たる。
- ・保護者への積極的な情報発信を行いながら、SSWやSCとの連携した教育相談を行う。

〔体力向上、保健・食育・安全指導〕

- ・Withコロナにおける体力向上の方策を検討、実施し、体力向上の取組の充実につなげる。

〔保護者・地域との連携〕

- ・PTA組織の改編を進め、保護者との連携を強化する。
- ・学校運営協議会委員と課題を共有し、ともに保護者や地域との連携を進める。

※ A4 1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。